

2015年12月16日
ボストン コンサルティング グループ
株式会社リクルートホールディングス

**ボストン コンサルティング グループとリクルートワークス研究所が
「求職トレンド調査 2015」を発表
世界13カ国(G7、BRICS、オーストラリア)の2014年入職者の求職行動を解明
-日本の求職者の主な入職経路はインターネット求人サイトと公的機関-**

ボストン コンサルティング グループ(東京オフィス：東京都千代田区、日本代表：水越豊・御立尚資)と、株式会社リクルートホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄)内の人と組織に関する研究機関であるリクルートワークス研究所は共同で「求職トレンド調査 2015(英語名：Job Seeker Trends 2015)」を初めて実施しました。これは、2014年に入職(就職あるいは転職)した、13カ国・約13,000人の求職行動を明らかにしたものです。

調査結果をまとめたレポートは、次のURLよりダウンロードいただけます。
レポートのURL(リクルートワークス研究所のウェブサイト内):

和文 http://www.works-i.com/pdf/151216_jst2015.pdf

英文 http://www.works-i.com/pdf/151216_jst2015_eng.pdf

<ポイント> ※詳細はP2以降を参照ください。

2014年には、世界全体で雇用者の約20%が入職したと推定される。うち、今回の調査対象とした13カ国(世界全体の雇用者30億人の59%を占める約17億人)では、次の結果が得られた。

1. 求職手段と入職経路

- 最も多くの求職者が利用した求職手段はインターネット求人サイトで**55%**。
- 利用したすべての求職手段のうち、現在の仕事を得る上で最も有効/重要だった手段(入職経路)はインターネット求人サイト**33%**。次いでリファーマル(家族や知人からの紹介)**19%**。

2. 求職期間

- 平均13週間。情報収集～応募に8週間、応募～内定に5週間。

3. 所得の変化と仕事満足度

- 転職後に所得が増加した人は**57%**。
- 転職後に仕事満足度が改善した人は**74%**。

[参考]日本の特徴

- 最も多くの求職者が利用した求職手段は、インターネット求人サイト**46%**、次いで公的機関(ハローワーク等)**34%**。公的機関の利用割合は13カ国中最も高い。
- 利用したすべての求職手段のうち、現在の仕事を得る上で最も有効/重要だった手段(入職経路)はインターネット求人サイトで**25%**。次いで公的機関(ハローワーク等)**24%**。
- 求職期間は平均**12週間**。GDP成長率2%未満の国の中で、ロシア(平均11週間)に次ぐ短さ。
- 13カ国中、所得が変わらなかった人の割合は最も高い**62%**。増加した人の割合は最も低い**23%**。減少した人の割合は他国並みの**15%**。

<調査概要>

- 実施の背景と目的：
世界各国の入職者の求職行動の実態を把握し、国際比較可能な形で明らかにすること。
- 対象国(順不同)：
カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、イギリス、アメリカ、ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ、オーストラリア
- 対象者：
 - ✓ 上記対象国で、2014年1～12月に入職した雇用者(15歳以上)。
 - ✓ 雇用者(会社員、パート・アルバイト、公務員)のみで、自営業者・フリーランス・主夫・主婦・学生・退職者・無職者を除く。
 - ✓ 学歴、男女比率によるウェイトバック集計を行った。
- 調査項目：
求職手段、入職経路(現在の仕事を得る上で最も有効/重要だった手段)、応募数、求職期間、所得増減、求職活動で利用した電子デバイス、仕事満足度の変化 等
- 手法：
 - ✓ インターネットによるアンケート調査：カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、イギリス、アメリカ、ブラジル、ロシア
 - ✓ インターネットによるアンケート調査およびインタビューなどによる調査：インド、中国、南アフリカ、オーストラリア
- 期間：2015年6月～8月
- 有効回答数：
13,202人
(内訳 カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、イギリス、アメリカ、ブラジル、ロシア、南アフリカ、オーストラリア：826人/国、インド：1,652人、中国：2,464人)

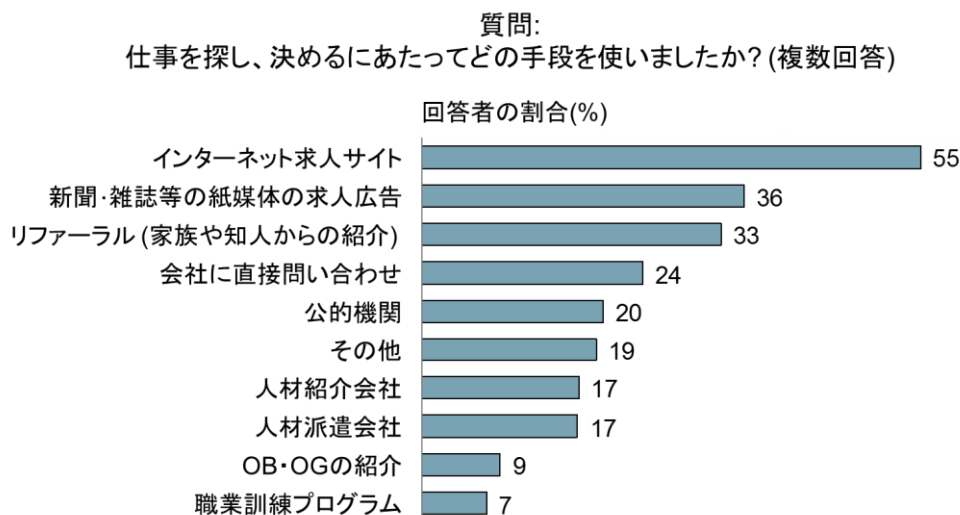
<トピックスの詳細> ※明記のないものについては、13カ国合計について説明しています。

1. 求職手段と入職経路：

- 最も多くの求職者が利用した求職手段はインターネット求人サイトで55%。次いで、新聞・雑誌等の紙媒体の求人広告36%、リファーマル(家族や知人からの紹介)33%。
- 利用したすべての手段のうち、現在の仕事を得る上で最も有効/重要だった手段(入職経路)はインターネット求人サイト33%。次いでリファーマル(家族や知人からの紹介)の19%。
- 日本において、最も多くの求職者が利用した求職手段は、インターネット求人サイト46%、次いで公的機関(ハローワーク等)34%。利用したすべての求職手段のうち、現在の仕事を得る上で最も有効/重要だった手段(入職経路)はインターネット求人サイトで25%。次いで公的機関(ハローワーク等)24%。公的機関の割合は13カ国中最も高い。

□利用した求職手段

注：小数点以下四捨五入。n=13,202



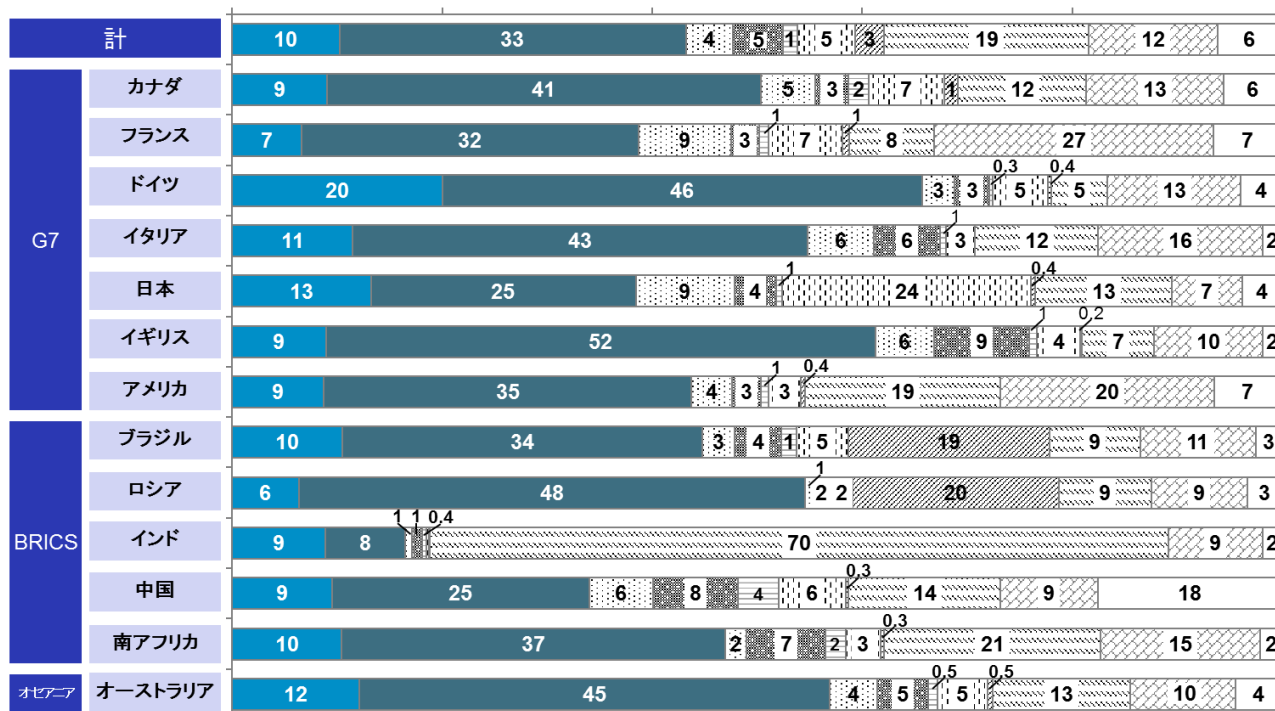
□国別の入職経路(最も有効な求職手段)

注：有効数字1桁以外小数点以下四捨五入。回答者全員における割合。端数誤差により合計が100%にならないことがある。n=13,202

質問:

利用したすべての手段のうち、現在の仕事を得る上で最も有効/重要だった手段はどれですか？(単一回答)

回答者の割合 (%)



--- コマーシャルチャネル ---

- 新聞・雑誌等の紙媒体の求人広告
- インターネット求人サイト
- 人材派遣会社
- 人材紹介会社
- 職業訓練プログラム

--- 公的チャネル ---

- 公的機関

--- 紹介チャネル ---

- OB・OGの紹介
- リファerral(家族や知人からの紹介)

--- その他 ---

- 会社に直接問い合わせ
- その他

[参考]電子デバイス利用について

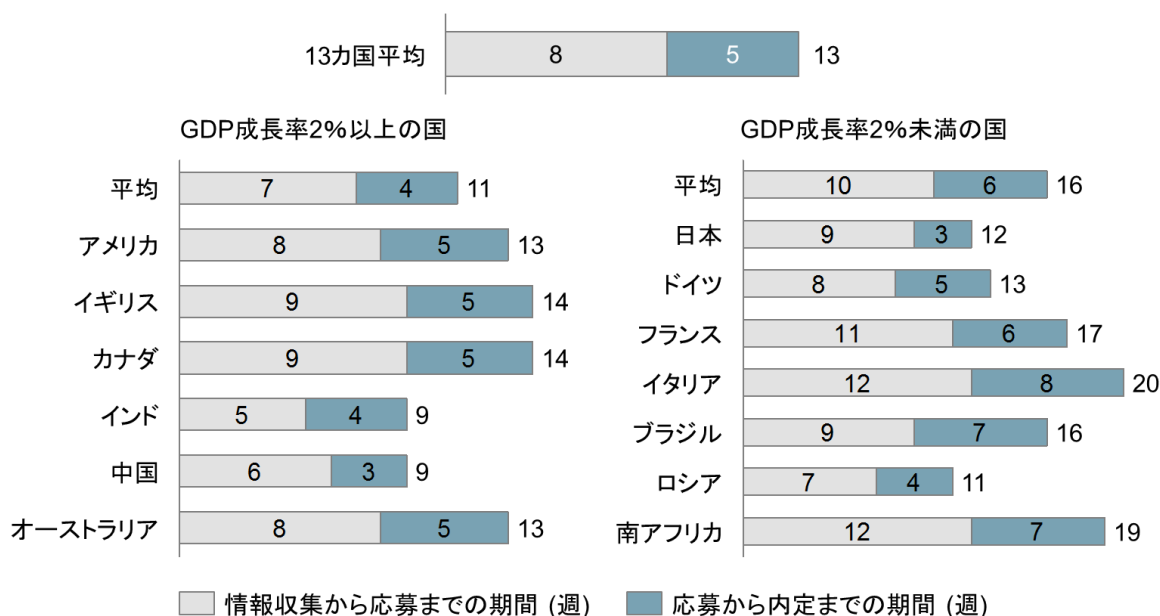
- 求職者全体の76%が、求職活動においてインターネット接続可能な電子デバイス(インターネットデバイス：PC、タブレット端末、スマートフォン)を利用。ほぼすべての国で、インターネットデバイスの利用率が80~90%に上るが、インドは16%と最も低い。
- 日本は、求職活動におけるスマートフォン利用率が17%であり、G7の中で最も高い。13カ国間の比較においても、南アフリカ(23%)、中国(21%)に次ぎ3番目に高い。

2. 求職期間:平均13週間

- 平均13週間。情報収集～応募に8週間、応募～内定に5週間。
- GDP成長率2%以上の国の平均は11週間、同2%未満の国は16週間。
- 日本は、平均12週間であり、GDP成長率2%未満の国の中でも、ロシア(平均11週間)に次ぎ短い。

□国別の求職活動期間:情報収集期間と内定までの期間

注: 小数点以下四捨五入。 n=13,202



3. 転職による所得と仕事満足度の変化:転職後に所得が増加したのは57%

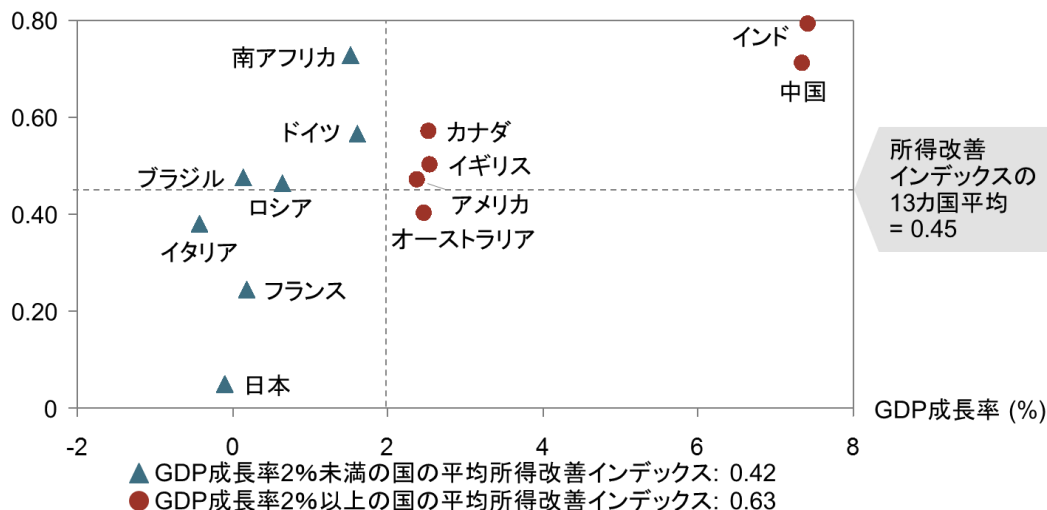
- 転職者の57%は、転職後に所得が増加した。
- GDP成長率が高い国ほど、転職後に所得が増加する人が多い。
- 日本は、所得が変わらなかった人の割合(62%)が、13カ国間の比較において最も高い。一方、増加した人の割合(23%)は最も低い。減少した人の割合(15%)は、他国並み。

□所得の改善とGDP成長率との相関

注: 「所得改善インデックス」は転職後に所得が上昇した割合を表す指数。転職により所得が増えた転職者数から所得が減った転職者数を差し引いて総転職者数で除して算出した。

n=12,062 (外れ値、未回答、および初職への就業者を除く)

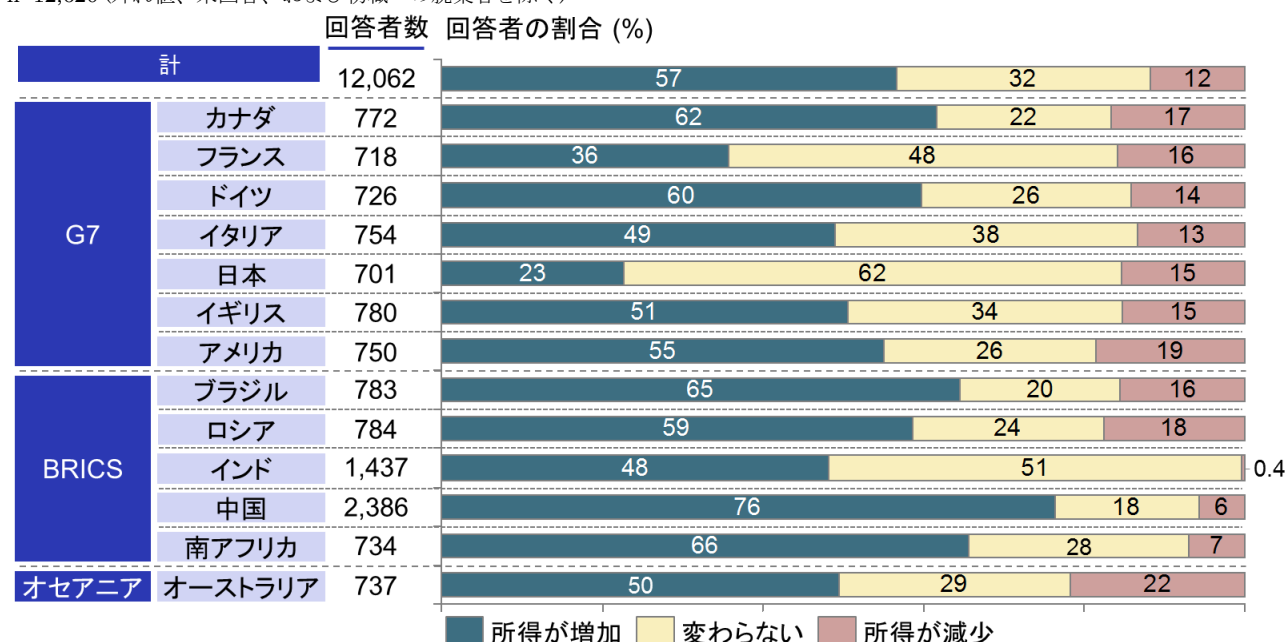
所得改善インデックス



□ 転職前後の所得の変化(国別)

注：有効数字1桁以外小数点以下四捨五入。端数誤差により合計が100%にならないことがある。

n=12,620 (外れ値、未回答、および初職への就業者を除く)



[参考] 全体的な仕事満足度*: 転職後に全体的な仕事満足度が改善したのは74%

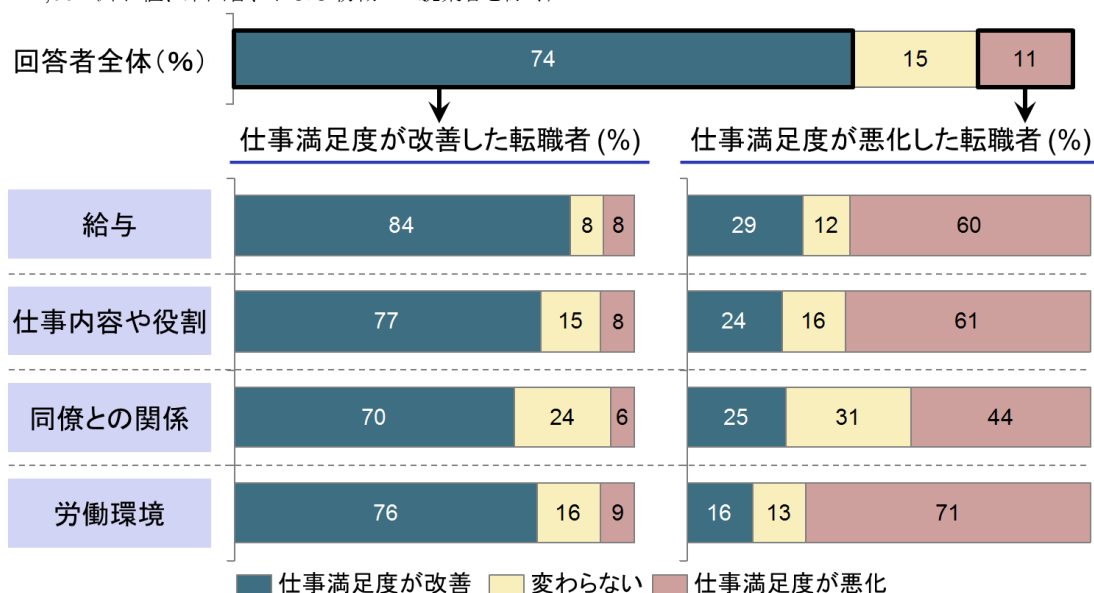
*給与、仕事内容や役割、同僚との関係、労働環境(労働時間、福利厚生)の4要素で調査

- 転職者の74%が、前職と比較して、新たに就いた仕事で全体的な仕事満足度が改善した。
- 仕事満足度が改善した主たる要因は給与の増加である一方、仕事満足度の引き下げに影響したのは労働環境(労働時間、福利厚生)の悪化。
- 全体的な仕事満足度が改善した求職者のうち、4要素すべてが改善した求職者は41%。仕事満足度を決定づける唯一の要素があるわけではなく、求職者は4要素の組み合わせにより満足感を得ている。
- 13カ国間の比較において、日本は、仕事満足度が改善した人の割合が最も低い(57%)。一方、低下した人の割合(21%)は最も高い。低下した要因別では、仕事内容や役割を挙げた人の割合が他国と比較して高い。

□ 仕事満足度は複数の要素からなる

注：小数点以下四捨五入。端数誤差により合計が100%にならないことがある。

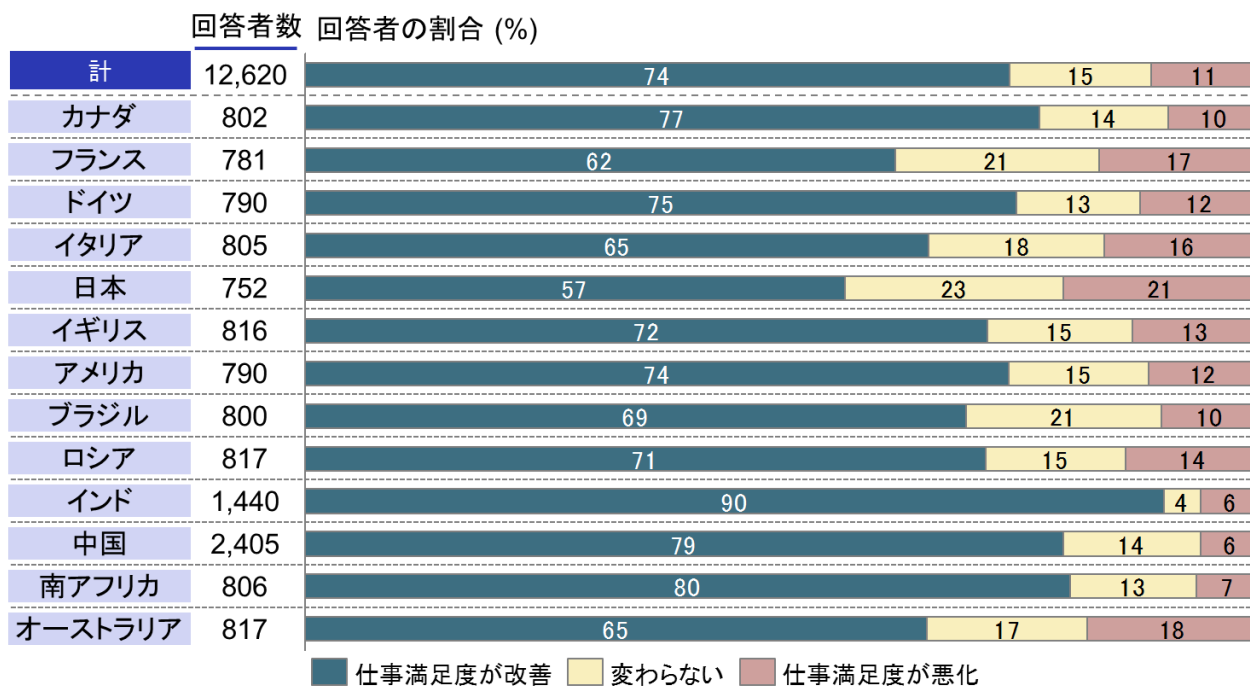
n=12,062 (外れ値、未回答、および初職への就業者を除く)



□ 転職前後の全体的な仕事満足度の変化(国別)

注：有効数字1桁以外小数点以下四捨五入。端数誤差により合計が100%にならないことがある。

n=12,620 (外れ値、未回答、および初職への就業者を除く)



【本件に関するお問い合わせ】

<https://www.recruit.jp/support/form/>

以上